

## 表1 山縣班50問診編完成版

- 1) カテゴリー10ごとに問診項目を記した。
- 2) 『乳』・『乳児健診』『1・6』・『1歳6ヶ月児健診』『3』・『3歳児健診』における設問を●で記した。
- 3) 母子健康手帳記載項目については、『子』の列に●で記した。
- 4) 健やか親子21の指標は、『健やか親子項目』の列に記した。

NO	カテゴリ	関係性・環境・子育て支援のための問診項目50(山縣班)	選択肢	乳児	1・6才	3才	母子手帳	すこやか	意義
1	親の(地域)社会との関わり	地域の子育てサークル等に参加していますか	はい・いいえ	●	●	●			育児サークル参加後、生活の充実、友人ができる、育児に自信がもてる、子どもの生活習慣や社会性が身につくなどの変化がみられるため、地域に根付いた子育て支援体制が重要である。
2		地域のお祭りや行事に参加していますか	はい・いいえ	●	●	●			子どもやその母親たちの触れ合う場所として、地域で催される「祭り」が重要な役割を果たす可能性がある。
3		公園などに子どもを連れて遊びに行くことがよくありますか	ある・ない	●	●	●			公園は、他の親子と交流することができる場所である。外遊びの習慣にもつながる。孤立を防ぐことのためにも大切である。
4		子育てが楽しいと思える時がよくありますか	よくある・ときどきある・あまりない・ない	●	●	●			「楽しくない」人ほど、子どもの発達の通過率が低い。子どもの発達も含め、保護者から出された何らかのサインであると受け止める。虐待の観点からも軽視できない。
5	親の身体・精神的健康度	自分はこの子を、扱いにくい子だと感じていますか	とても感じる・時々感じる・あまり感じない・全く感じない	●	●	●			子どもとの関係性について保護者が感じていることがわかる。子育てのストレスは、子どもの性質の影響を受けている。
6		自分は子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか	よくある・ときどきある・あまりない・ない	●	●	●	○		「子どもへの虐待感」をもつ保護者に対し、子育てへの嫌悪感、子育てへの自信の喪失、心が満たされない空虚感、理解されない子育ての負担などを考慮した支援が必要である。
7		子どもが泣きやまず、いらいらすることがよくありますか	よくある・ときどきある・あまりない・ない	●	●	●			子どもは手が届かぬものであり、親はイライラを感じる。よく泣く子どもは、その代表である。夜泣きや寝ないなどは、子どもに衝動的感情を持ちやすく、親の疲労度が高まる。

8	あなたは現在、健康上の問題で子育てに何か影響はありますか（ある・ない）	ある・ない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	自分の健康は思わしくなく感じている母親は、虐待をしていると感じている母親は、虐待をしていないと感じている母親は、虐待をしていないと感じている母親は、親として不適格と感じているものが多い。親の健康は子どもの健康にも影響するため、重要である。
9	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか	よくある・ときどきある・あまりない・ない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	親に心のゆとりがあることは、子育てしていくうえで必要である。
10	自分ひとりで子育てしているという思いがありますか	とてもある・ややある・あまりない・まったくない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	子ども虐待の原因になる子育てにおけるストレスを軽減するためには、孤独な子育てを予防する必要がある。家族、親類、友人などによるサポートの影響が大きい。
11	よくテレビ・ビデオを見せていますか	はい（ 時間くらい／1日）・いいえ	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	テレビやビデオが多いと、親子でのふれあいが少なくなる。テレビ視聴時間は、生活時間、遊びの種類、言語発達とも関連するため、健全な発育を促すために重要である。
12	絵本の読み聞かせをよくしていますか	はい（ 分くら／1日に・1週間に・1ヶ月に）・いいえ	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	親子のコミュニケーションのツールとして絵本の読み聞かせがある。親子関係についての親点も大切である。
13	お子さんとよく遊んでいますか	よく遊んでいる・時々遊んでいる・あまり遊んでいない・遊んでいない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	育児不安がある母親は、子どもの相手をしないなどとの関連がある。母親の健康状態が悪い、孤立しているなどの状態が考えられるため、支援が必要である。
14	お父さんはお父さんとよく遊んでいますか	よく遊んでいる・時々遊んでいる・あまり遊んでいない・遊んでいない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	父親が子どもを遊ばせることなどは、母親の育児負担感が低減する。夫の協力は、母親の育児共同感にもつながる。
15	外遊びをよくしますか	している（ 時間くらい／1日に・1週間に・1ヶ月に）・ほとんどしていかない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	外遊びをよくすると、テレビの視聴時間が短く、早寝早起きが出来、朝食の食欲があり、風邪をひきにくく、疲労を訴えるものが少ない。外遊びを推進することは、生活の確立習慣の確立につながる。
16	友だちとよく遊びますか	よく遊んでいる・時々遊んでいる・あまり遊んでいない・遊んでいない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	家族以外の人と遊ぶことができるか、子どもの社会性をみることができる。養育環境により生活経験が少ないなどが考えられ、支援が必要である。
17	ごっこ遊びをしていますか	よく遊んでいる・時々遊んでいる・あまり遊んでいない・遊んでいない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	生活経験によって発達に差が出てくることも少なくない。社会性の発達をみることで、大切である。
18	お父さんはおおむつを替えますか	よくやっっている・時々やっっている・ほとんどしない・何ともいえない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	排泄の世話をするものは、育児が好き、得意と感じる父親に多い。父親が育児をすると、母親の充実感や子どもへの肯定感が高まるため、父親の育児は大切である。
19	添い寝をして寝ていますか	はい・いいえ	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	SIDSの問題がある。日本の最近の現状について、みていくことができる。
20	生後1ヶ月のころ、母乳育児をしていましたか	していた（ほぼ母乳のみ・混合）・していなかった	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	母乳育児は、肯定的な育児感をもつものが多い。母乳育児ができないことに悩む母親への支援につなげることも大切である。

21	食事の時間はだいたい決まっていますか	はい・いいえ					○	幼児期の食行動は、将来の食行動の基礎となる。また、食事の規則性は、バランスのとれた栄養充足と関連がある。
22	家族と一緒に食事をすることがよくありますか（1日最低1食ふたりに上で）	毎日ある・週に数日ある・ほとんどない					●	家族と一緒に食事は、子どものこのころを安定させ、子どもの社会性を育む。また、共食頻度が高いほど栄養摂取状況も良好となる。
23	おやつは時間をきめて与えていますか	はい・いいえ					●	おやつは規則性は適切な食品摂取と関連がある。また、う歯予防の観点からみても時間と回数を決める必要がある。
24	よくかんで食べますか	はい・いいえ					○	よく噛むことは、肥満を予防する、歯の病気を予防する、消化を助ける、脳の機能を活性化させる。
25	子どもの食事をつくるのは楽しいですか	はい・いいえ・何ともいえません	●				●	子どもの食事づくりに対する意識は、家族一緒に食事を、バランスの取れた栄養、噛む力などへの関心と、関連している。
26	おこさんは、一緒に食事づくりや後片付けをしていますか	はい・いいえ					●	家族のために食事の支度等ができたという、「満足感」や「達成感」につながる。食を通じて子どもの社会性を育む機会となる。
27	おむつはとれましたか	はい・トレーニング中・いいえ					●	おむつを取ることに悩む母親の不安を受けとめるための項目。
28	子どもを連れて夜外出・外食などをすることがよくありますか	ある（何時頃までには帰宅していますか：時頃）・ときどきある・あまりない・ない	●				●	夜に外出するほど、子どもの寝付きが悪く就寝時刻が遅くなる。就寝時刻は、朝食習慣や食を介した良好な親子関係とも関連がある。
29	子どもは早寝早起きをしていますか	はい・いいえ *平日起きる時間：朝時 *平日寝る時間：夜時頃					●	早寝早起きは、子どもの食欲、朝食習慣、食を介した良好な親子関係などと関連がある。
30	おしゃぶりを使っていますか	はい・いいえ	●				●	おしゃぶりの習慣は、子どもと親のふれあい、ことばかけ、発語の機会などを減らすと言われている。
31	歯磨きや手洗いをしていますか	している・ときどきしている・あまりしていない・していません					○	生活習慣の確立状況を見る項目
32	衣服の着脱をひとりできますか	する・ときどきする・あまりしない・しない					○	生活習慣の確立状況を見る項目
33	保護者が歯の仕上げみがきをしていますか	はい（食後に必ず・食後ではないが1日1回以上）・いいえ					○	仕上げ磨きをしている親は、「歯」以外の子どもの生活についての関心も高い。

34	地域・周囲からの関わり ( )	日常の子育ての相談相手は誰ですか	1 夫婦で相談する 2 祖母 (または祖父) 3 近所の人 4 友人 5 かかりつけの医師 6 保健師・助産師 7 保育士・幼稚園の先生 8 電話相談 9 インターネット 10 誰もいない 11 その他	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	子育てへのストレスを軽減するためには、孤立させないことが必要である。健やか親子の指標でもある。
35		あなたの住んでいる地域では子どもに道で声をかけてくれる人がいますか	はい・いいえ	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	セーフコミュニケーション、ソーシャルキヤピタルなどをみる項目である。地域の特性を把握することへもつながる。
36		他の子どもにも道でよく声をかけますか	はい・いいえ	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	その地域が互いに声をかけあう状況であれば、親も自然に声をかける習慣ができる。
37		あなたは現在喫煙していますか	いいえ・はい (1日 本)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	健やか親子の指標。子どもの歯や全身の健康、SIDSの発生頻度とも関連がある。
38		あなた以外の家族に、現在喫煙している人がいますか	いない・いる (1日 本、誰: )	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	健やか親子の指標。子どもの歯や全身の健康、SIDSの発生頻度とも関連がある。
39		かかりつけの医師はいますか	いる・いない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	健やか親子の指標
40		休日夜間にお子さんが急病のとき、診察してもらえぬ医療機関を知っていますか	はい・いいえ	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	健やか親子の指標
41		子どもを対象にした心肺蘇生法 (心臓マッサージ) などの救急措置の講習を受けたことがありますか	ある・ない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	健やか親子の指標
42		車に乗るときはチャイルドシートを必ず着用していますか	している・していない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1～6歳児の死亡原因の第一位は交通事故であり、かつ同乗中の事故が多い。
43		あなたは、車に乗るときはシートベルトを必ず着用していますか	している・していない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	親のシートベルトと子どものチャイルドシートは関連がある?
44		薬・タバコ・あめ・ピアス・硬貨などの小物は1メートル以上の高さのところに置いていませんか	している・していない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	もともと発生頻度が高い事故は、誤飲である。事故は、具体的な対策で防ぐことが出来る。
45		お風呂に残し湯をしていますか	している・していない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1才になると、湯水による事故が急増する。家庭内での事故として、お風呂の残り湯が原因となっていることが多い。
46		自転車に乗せる際には、子どもにヘルメットを着用させていますか	させている・させていない	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	自転車事故では、ヘルメットの着用が重症事故の予防になる。

## 親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診問診項目 —学術的事項・エビデンスに関わる事項の集積—

佐藤 千織 千葉県柏健康福祉センター  
渡辺多恵子 茨城県常総市保健推進課  
鈴木 茜 千葉県印西市中央保健センター  
甲斐 友佳 千葉県印西市中央保健センター  
三國 和美 宮城大学看護学部  
松浦 賢長 福岡県立大学看護学部  
山縣然太郎 山梨大学大学院医学工学総合研究部

平成17年度に開発した親子関係性・環境・子育て支援のための問診項目「山縣班50」をさらに検証をすすめ、親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診問診項目（46項目）を創出した。（別稿）同時に、創出された項目について母子保健情報の利活用に向けて文献検索を行ってきた。

本研究では、文献検索の結果、問診項目46項目中21項目においてエビデンスの追加集積やエビデンスレベルを上げる集積をしたので報告する。

### I. 研究の目的

平成17年度に開発した親子関係性・環境・子育て支援のための問診項目「山縣班50」をさらに検証をすすめ、親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診問診項目（46項目）を創出した。（別稿）同時に、創出された項目について母子保健情報の利活用に向けて文献検索を行ってきた。

本研究では、文献検索の結果、問診項目46項目中21項目においてエビデンスの追加集積やエビデンスレベルを上げる集積をしたので報告する。

### II. 研究の方法

検索は、近年の日本公衆衛生雑誌、小児保健研究、日本栄養・食糧学会講演要旨集、母性衛生等の書籍とインターネット上のホームページから行った。

### III. 結果

本研究で、初めてエビデンスを集積できた問診項目は、22, 24, 33であり、エビデンスレ

ベルが学会発表レベルからジャーナルレベルに上がった問診項目は、6, 10, 11, 14, 18, 34である。また、新たにエビデンスを集積した問診項目は、5, 6, 7, 8, 10, 11, 14, 15, 18, 21, 22, 24, 25, 26, 29, 30, 33, 34, 44, 45, 46である。これまでに、集積した各問診項目におけるエビデンスは表1のとおりである。本研究で新たに集積した項目ごとに以下に記述する。

#### 1. 親の身体・精神的健康度

問診項目5. 自分はこの子を、扱いにくい子だと感じていますか

育児ストレスとその生成要因に関する研究によると、子育てへのストレスは、「子どもの性質」の影響を受けている<sup>50)</sup>。

問診項目6. 自分は子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか

育児ストレスとその生成要因に関する研究によると、「子どもへの虐待感」と強い相関があるとされている「子育てのストレス」は、

子育ての嫌悪感、子育てへの自信の喪失、心が満たされない空虚感、理解されない子育ての負担の4つの概念から構成される<sup>50)</sup>。

また、乳幼児をもつ母親612人を対象とした調査によると「虐待をしているのではないか」と思う母親は20.3%であった。「虐待をしている」母親と「何ともいえない」母親は、「していない」母親よりSTAIの得点、育児不安の得点が有意に高かった。子どもの虐待をしている母親は、子育てのイライラ、育てていく上での問題、こどもについての悩みがあり、子育てが楽しくない、夫との会話が1時間未満/日であり夫の対応が悪く精神的支えとなっていなかった<sup>63)</sup>。

問診項目7. 子どもが泣きやまず、いらいらすることがよくありますか

育児ストレスとその生成要因に関する研究によると、「子育てのストレス」は、心の健康状態、ストレスコーピング能力、自己効力感との相関が強い。子育てストレスを軽減するためには、心身の状態が安定しており、ストレスに対処できる自信と確信を持っていることが重要な要素である<sup>50)</sup>。

問診項目8. あなたは現在、健康上の問題で子育てに何か影響はありますか

国民生活基礎調査（健康票）において、質問5「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」、SF36の間4「過去1ヶ月間に、仕事やふだんの活動をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか」問5「過去1ヶ月間に、仕事やふだんの活動をするにあたって、心理的な理由で次のような問題がありましたか」問6「過去1ヶ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか」が調査されている<sup>69)</sup>。

問診項目10. 自分ひとりで子育てしているとい

う思いがありますか

育児ストレスとその生成要因に関する研究によると、子育てのストレスは、「子育てへの嫌悪感」「子育てへの自信の喪失」「心が満たされない空虚感」「理解されない子育ての負担」の4つの概念から構成されており、この概念と「子どもへの虐待感」は強い相関がある。また、育児ストレスは、「夫の育児協力」「子どもの性質」「家族・親類・友人・知人」によるサポートの影響を受けている。子ども虐待の原因になる子育てにおけるストレスを軽減するためには、孤独な子育てを予防し、子育てにおける心理的なストレスを軽減する必要がある<sup>50)</sup>。

## 2. 遊び

問診項目11. よくテレビ・ビデオを見せていますか

幼児期における遊びを中心とした生活習慣の相互関連に関する研究によると、S市内の幼稚園の全児2,924名を対象に行なった調査結果では、テレビを見ている時間が2時間未満の幼児は66.7%、2時間以上の幼児は33.3%であった。テレビの視聴時間が短い幼児は、外で遊ぶことが多く、ごっこ遊びをよくすると答えたものが多かった。また、生活時間が整っており、朝食の食欲もあり、主食をきちんと食べていた。歯痛を訴えるものや通院している幼児も少なかった。テレビ視聴時間は、生活時間と関係しているだけでなく、遊びの種類とも連動していることから、長時間のテレビ視聴を解消することは健全な発育を促す可能性があると考えた<sup>61)</sup>。

また、0歳児1224人を対象にしたテレビ接触状況の調査によると、母子がいっしょにテレビに接触している時間は2時間19分、一人で接触している時間は45分だった。テレビ接触時間の74%は大人向け番組だった。0歳児のテレビ接触時間は「出生順位が下の子ほど長い」「母親の視聴時間が長いほど長い」「母親がテレビ好きなほど長い」「母親が子どもに抱く信頼が低いほど長い」という結果であった<sup>62)</sup>。

テレビ・ビデオの長時間視聴が幼児の言語発達に及ぼす影響について1歳6ヶ月児健診対象児1440名にアンケート調査（回収1057名）によると、発達状況別視聴時間は言語の指差しと発語で未通過群が有意に長く、他の言語や社会性でも未通過群で長い傾向であった。発達通過率は、人見知りと発語で視聴時間が長くなるにつれ有意に低下した<sup>64)</sup>。

問診項目14. お父さんはお子さんとよく遊んでいますか

1歳6ヶ月児をもつ母親140名を対象とした調査によると、母親の「育児共同感」（父親と育児を一緒に行っているという気持ち）を従属変数に、父親の育児支援行動を独立変数としてロジスティック回帰分析を行った結果、父親の「直接育児行動」（食事の介助、排泄の世話、着替え、寝かしつけ、入浴、話しかける、抱っこ、遊び相手、子どもと二人で外出、子どもと二人で留守番）（ $p < 0.01$ ）、「情緒支援行動」（話に耳を傾け親身に聞いてくれる、一日の子どもの様子を夫から聞いてくれる、気持ちに気づいてくれる、こどもの成長・発達をともに喜んでくれる、他）（ $p < 0.05$ ）が有意に関連していた<sup>65)</sup>。

問診項目15. 外遊びをよくしますか

S市内の幼稚園の全児2,924名を対象に行なった調査結果では、戸外で遊ぶことが多いと答えた幼児は23.3%、室内で遊ぶことが多いと答えた幼児は47.7%、どちらも言えない幼児は29.0%であった。外遊びをよくする幼児は室内遊びが多いものよりテレビの視聴時間が短く、早寝早起きが出来ているものが多かった。朝食の食欲があり、朝食にはご飯やパンなどの主食をきちんと食べているものが多く、風邪をひきにくく、疲労を訴えるものが少なかった。以上のことから、戸外遊びを推進することは、生活の確立習慣の確立につながると考えられた<sup>61)</sup>。

### 3. 母乳・接触

問診項目18. お父さんはおむつを替えますか

1歳6ヶ月児をもつ母親140名を対象とした調

査によると、母親の「育児共同感」（父親と育児を一緒に行っているという気持ち）を従属変数に、父親の育児支援行動を独立変数としてロジスティック回帰分析を行った結果、父親の「直接育児行動」（食事の介助、排泄の世話、着替え、寝かしつけ、入浴、話しかける、抱っこ、遊び相手、子どもと二人で外出、子どもと二人で留守番）（ $p < 0.01$ ）、「情緒支援行動」（話に耳を傾け親身に聞いてくれる、一日の子どもの様子を夫から聞いてくれる、気持ちに気づいてくれる、こどもの成長・発達をともに喜んでくれる、他）（ $p < 0.05$ ）が有意に関連していた<sup>65)</sup>。

### 4. 食

問診項目21.

食を通じた子どもの健全育成のあり方（—いわゆる「食育」の視点から—）に関する検討会によると、子どもになるには、幸福感や食欲を感じ、それを適切に満たす心地よさを経験することが重要で、生活全体との関わりが大きいので、家庭、保育所、幼稚園、学校、塾など、子どもが食事時間を過ごしたり、その可能性のある機関が連携して環境を整える必要があると報告されている。また、朝食の状況は、1～6歳において「週1～2回しか食べない」子どもが2%前後みられ、「週に1～2回抜く」「週3～4回抜く」をあわせると10%前後になり（日本小児保健協会、平成12年度幼児健康度調査）、朝食の欠食問題も低年齢化していると述べられている<sup>60)</sup>。

問診項目22. 家族と一緒に食事をするのがよくありますか（1日最低1食ふたり以上で）

小学生保護者の家族との共食頻度と食習慣の関連の報告によると、父親では、朝食で共食頻度「週1回以下」の者は、他の頻度の者に比べ、食態度で「栄養バランスを考えて食事をする」、「主食・主菜・副菜家族との共食は、子どもの場合だけでなく、成人にとっても望ましい食生活を営む上で鍵となる重要な行動であることが示唆された。父親および母親共に朝食の

共食頻度が高いほど栄養摂取状況が良好な傾向が認められた<sup>52), 53)</sup>。

また、食を通じた子どもの健全育成のあり方（一いわゆる「食育」の視点から一）に関する検討会によると、子どもになるには、家族や仲間などとの和やかな食事を経験することにより、安心感や信頼感を深めていくことが重要であり、安心感や信頼感を持つことで、人や社会との関わりを広げていくことができると報告されている他、家族揃って夕食をとる頻度については、「毎日食べる」「週4日以上食べる」が減少しており（厚生労働省、児童環境調査）、家族揃って食べる貴重な機会をどう活かすかがいっそう重要になってくると述べられている<sup>70)</sup>。

実態調査として、次の4調査が文献検索された。

まず、幼児の健康と食生活に関するアンケート調査では、「お子さんは夕食を家族のどれかと食べますか」毎日食べる98.8%、週5～6日は食べる0.6%、1人で食べている0.6%であった<sup>58)</sup>。

次に、佐賀市内内私立幼稚園児の保護者2329名（男児1168名、女子1130名、不明31名、満3歳児51名、3歳児472名、4歳児792名、5歳児991名、不明23名）を対象に実施した食生活調査では、朝食を両親、または父・母の一方と食べるものをあわせると71.9%であったが「子どもだけで食べる」が22.9%であった。夕食を両親、または父・母の一方と食べるものをあわせると93.6%であったが「子どもだけで食べる」が2.6%であった<sup>59)</sup>。

そして、S市内の幼稚園の全児2,924名を対象に行なった調査結果では、朝食を大人の誰かと食べている幼児は76.7%であった。生活時間が整っており、朝食・夕食の食欲があるものが多かった。健康状態については痩せすぎのものは少なく、疲労、歯痛、下痢・腹痛を訴えるものも少なかった。テレビゲームでよく遊ぶと答えた幼児は少なく、ボール、ブロック、絵本、パズル、積み木でよく遊ぶと答えたものが多かった。朝食を誰かと食べることは、全身を動かす

遊びが増えることとも関係し、不定愁訴の減少につながっているのではないかと考えた<sup>61)</sup>。

最後に、S県内の3歳以上の幼稚園児、保育園児185名を対象に実施した健康と食生活に関するアンケート結果では、ほとんどの幼児が夕食を家族のどれかと食べており、一人で食べる者がある者は2名にすぎなかった<sup>60)</sup>。

#### 問診項目24. よくかんで食べますか

幼児の健康と食生活に関するアンケート調査結果によると、「お子さんはよく噛んで食べていますか」はい75.4%、いいえ24.6%であった<sup>58)</sup>。

また、S県内の3歳以上の幼稚園児、保育園児185名を対象に実施した健康と食生活に関するアンケート結果では、よく噛んで食べていますかという問には、20.6%の幼児が「いいえ」と答えたが、親子の食行動、食態度との関係はみられなかった<sup>60)</sup>。

#### 問診項目25. 子どもの食事をつくるのは楽しいですか

S県内の3歳以上の幼稚園児、保育園児185名を対象に実施した健康と食生活に関するアンケート結果では、「子供の食事をつくるのは楽しいですか」という問に対して、「楽しい」「なんということはない」と答えた親は、「食事の時間が親子のふれあいの場になっている」「栄養成分表示を見ている」「噛む力がついているか気にしている」など育児全体に関心があり、「好き嫌いがあるのを気にしている」者は少なく食事作りには自信があることが伺えた<sup>60)</sup>。

また、幼児の健康と食生活に関するアンケート調査結果では、「子どもの食事作りに対してどのように感じていますか」作るのが楽しい19.9%、作る時間がない7.3%、作るのがわずらわしい0.7%、考えるのが面倒15.2%、なんということはない41.1%、その他11.3%、無回答4.6%であった<sup>58)</sup>。



問診項目26. おこさんは、一緒に食事づくりや後片付けをしていますか

食を通じた子どもの健全育成のあり方(いわゆる「食育」の視点から)に関する検討会によると、子どもになるには、子どもの周りに食事づくりに関わる魅力的な活動を増やし、ときには家族や仲間のために作ったり準備したりすることで満足感や達成感を得る経験も必要であると報告されている<sup>70)</sup>。

幼児の健康と食生活に関するアンケート調査によると、「お子さんは食事の準備(食器ならべ、台ふきなど)の手伝いをしますか」する18.1%、ときどきする57.3%、しない24.6%であった<sup>58)</sup>。

また、S県内の3歳以上の幼稚園児、保育園児185名を対象に実施した健康と食生活に関するアンケート結果では、食事の準備などの手伝いを「する」「ときどきする」幼児は、祖父母と同居していない者が多く、「食事のときに「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶ができ」「早起き(8時まで)」など、良好な生活習慣が身につけていることに加え、「親と一緒に買い物をする」など親とのコミュニケーションや「野菜を食べる」などの食生活も良好であった。これらの親は「幼児期は食事リズムの基礎ができる時代であることを知って」おり「甘いものを与えすぎているか」「栄養バランスがとれているか」について気にしているなどの不安を抱えていた<sup>60)</sup>。

## 5. 生活習慣

問診項目29. 子どもは早寝早起きをしていますか

佐賀市内私立幼稚園児の保護者2329名(男児1168名、女子1130名、不明31名、満3歳児51名、3歳児472名、4歳児792名、5歳児991名、不明23名)を対象に実施した調査によると、起床時刻は7時まで18.0%、平均起床時刻7時12分、就寝時刻は9時まで12.9%、平均就寝時刻21時21分であった<sup>59)</sup>。

また、幼児の健康と食生活に関するアンケー

ト調査結果では、起床時刻は7時まで7.9%、7時以降42.1%、就寝時刻は9時まで45.6%、9時以降54.5%であった。食欲と関連をみると食欲がある子どもには早寝早起きが多い<sup>58)</sup>。

その他、S市内の幼稚園の全児2,924名を対象に行なった調査結果では、午後10時前に就寝し午前8時前に起床している幼児を早寝早起が出来ていると定義し、早寝早起が出来ている幼児は70.0%であった。朝食・夕食を早く済ませているものが多く、外で遊ぶことが多いと答えたものが多かった。また、朝の食欲があり、大人の誰かと食べているものが多かった。このことから、早寝早起が朝食の食欲のみならず遊び場所とも関係し、生活の基本であることが確認できた<sup>61)</sup>。

さらに、S県内の3歳以上の幼稚園児、保育園児185名を対象に実施した健康と食生活に関するアンケート結果では、朝8時より早く起きる幼児は、「食事のときに「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶」ができ「食事の時間が親子のふれあいの場になっている」事に加え、「食事の準備の手伝いをする」「親と一緒に買い物をする」「親と食べ物や身体のはたらき等について話す」など、食を介した良好な親子関係が築けていることが伺えた。夜10時より遅く寝る幼児は4.3%(6名)しかいなかった<sup>60)</sup>。

問診項目30. おしゃぶりを使っていますか

米津は、おしゃぶりや指しゃぶりと乳歯の噛み合わせとの関係を調べるため、1歳6か月児、2歳児、3歳児歯科健康診査に来院した1,120名について調査した。ではその結果、2歳児では指しゃぶり群(吸指群)で出っ歯(上顎前突)がおしゃぶり群で開咬が高頻度にみられ、3歳児ではこの傾向がさらに増大したと報告されている。

今村らは4~5歳児の小児432名についておしゃぶり、指しゃぶりと乳前歯部開咬について調査し、おしゃぶり群は指しゃぶり群より軽度だが、年齢が高くなるまで長期に使用すると乳前歯部が開咬になりやすいという結果を得てい

る。

小児科と小児歯科の保健検討委員会のおしゃぶり使用の考え方は1歳過ぎたら常時使用しない、遅くとも2歳半までに使用中止する、おしゃぶりを使用している間も子どもがして欲しいことやしたいことを満足させるよう心がける、おしゃぶりだけでなく指しゃぶりも習慣づけ内容にする、4歳以降になってもおしゃぶりが取れない場合は、情緒的な面も考慮してかかりつけの小児科医に相談することを勧めるの5点である<sup>51)</sup>。

問診項目33. 歯磨きや手洗いをしていますか

幼児の健康と食生活に関するアンケート調査によると、「家族の誰かが仕上げ歯磨きをしていますか」はい75.5%、いいえ22.5%、無回答2.0%であった<sup>58)</sup>。

また、S県内の3歳以上の幼稚園児、保育園児185名を対象に実施した健康と食生活に関するアンケート結果では、家族の誰かが仕上げ磨きをしていると答えた幼児には「毎日朝食を食べる」者が多く、親は「幼児期は食事リズムの基礎ができる時代であることを知っている」「給食の献立表を見ている」「栄養成分表示を見る」など、子供の生活について関心が高かった<sup>60)</sup>。

## 6. 地域・周囲からの関わり（親子へ）

問診項目34. 日常の子育ての相談相手は誰ですか

育児ストレスとその生成要因に関する研究によると、子育てのストレスは、「子育てへの嫌悪感」「子育てへの自信の喪失」「心が満たされない空虚感」「理解されない子育ての負担」の4つの概念から構成されており、この概念と「子どもへの虐待感」は強い相関がある。また、育児ストレスは、「夫の育児協力」「子どもの性質」「家族・親類・友人・知人」によるサポートの影響を受けている。子ども虐待の原因になる子育てにおけるストレスを軽減するためには、孤独な子育てを予防し、子育てにおける心理的なストレスを軽減する必要がある<sup>50)</sup>。

## 7. 事故

問診項目44. 薬・タバコ・あめ・ピアス・硬貨などの小物は1メートル以上の高さのところに置いていますか

1歳6ヵ月児をもつ母親を、介入群（健診時に事故防止チェックリストを渡した母親）と未介入群（チェックリスト配布以前に健診を受診した母親）に分け、事故防止に関する知識や事故発生について調査した結果によると、介入群では未介入群に比べ「物品の安全性を確かめる」「お子さまは、小さなもの（ビーズ、硬貨、おもちゃなど）で遊びますか」「薬や洗剤類をお子さまの手の届くところに置かないようにしていますか」「灰皿を置かない」の項目で意識が高かった<sup>66)</sup>。

問診項目45. お風呂に残し湯をしていますか

「乳幼児死亡の防止に関する研究班」報告書によると、0歳児と1歳児の水死のうち約80%が浴槽における水死であり、家庭の浴槽の状態は「いつも残し湯をしている」「ときどき残し湯をしている」を合わせ69.7%、また子供が浴室に入らないような工夫については、「何もしていない」が62.3%であった<sup>67)</sup>。

問診項目46. 自転車に乗せる時には、子どもにヘルメットを着用させていますか

全国の幼稚園児、保育園児の保護者8000名を対象とした調査によると、「子どもと自転車の同乗経験がある」保護者は全体の59.8%で、そのうちの13.1%が昨年1年間で、子どもとの自転車同乗時または駐輪時等に子どもがケガをした「事故の経験がある」と回答している。事故発生時における幼児向けヘルメットの着用の有無を聞いたところ「着用していた」と回答したのは1.2%と極めて低かった<sup>68)</sup>。

## IV. まとめ

今回の文献検索では、新たに創出された親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診問診項目について、エビデンスの追加

集積を行った。問診項目46項目中21項目においてエビデンスの追加集積やエビデンスレベルを上げる集積ができた。しかし、親子の社会的健康度を育むという新しい観点のため、現時点ではエビデンスが集積できずこれから調査・研究が進むと考えられる項目もあった。

今後は、検索を進める他、創出された問診項目を展開・実施して集積されたデータからエビデンスを創出することが必要である。

## V. 文献

- 1) 谷村雅子：「テレビは危険」提言の真意。Nikkei Medical 2004. 6. 181p  
[http://www2l.big.or.jp/~pcs/ent2006/topics/coution\\_TV.html](http://www2l.big.or.jp/~pcs/ent2006/topics/coution_TV.html)
- 2) 佐藤京子，他：子育てサークル参加後の変化。日本公衆衛生雑誌，50(10)：649. 2003
- 3) 原田正文：「人づきあいが得意でない母親」も参加しやすい子育てサークル。保健師ジャーナル，60(8)：812-816. 2004
- 4) 鳥取県福祉保健部健康対策課：鳥取県乳幼児健康診査マニュアル：23. 2004
- 5) 白石裕子，他：50歳代および60歳代の女性における育児支援者としての潜在的可能性に関する研究。母性衛生，43(4)：580-585. 2002
- 6) 樋口広美，他：育児実態調査からみた子ども虐待のハイリスク要因。保健師ジャーナル，60(10)：1006-1013. 2004
- 7) 江原寛昭，他：倉敷市における1歳6ヶ月児の発達の研究。第52回日本小児保健学会講演集：266-267. 2005
- 8) 江原寛昭，他：倉敷市における3歳児の発達の研究。第52回日本小児保健学会講演集：268-269. 2005
- 9) 鳥取県福祉保健部健康対策課：鳥取県乳幼児健康診査マニュアル：38. 2004
- 10) 原口幸子，他：母親の育児における肯定感情と育児不安の関係。日本公衆衛生雑誌50(10)：641. 2003
- 11) 城田桂子，他：子育て中の保護者の主観的健康観と虐待の自己認知との関係ー父親と母親の比較ー。日本公衆衛生雑誌，51(10)：567. 2004
- 12) 平成15年厚生労働白書。  
<http://www.hakusyo.mhlw.go.jp/wpdocs/hpax200301/b0042.html>
- 13) 原田正文：新しい子育て支援メニュー「親支援プログラム」を展開しよう。保健師ジャーナル，60(12)：1228-1231. 2004
- 14) 土平俊子，他：幼児期の子どもをもつ保護者の主観的健康度と育児観の検討。日本公衆衛生雑誌，52(8)：646. 2005
- 15) 諏澤宏恵，他：育児ストレスに影響を及ぼす要因の構造。第52回日本小児保健学会講演集：178-179. 2005
- 16) 鈴木美枝子，他：育児中の母親の気分の落ち込みと子育て。第52回日本小児保健学会講演集：180-181. 2005
- 17) 加納亜紀，他：幼児におけるテレビ・ビデオ視聴の実態。第52回日本小児保健学会講演集：540-541. 2005
- 18) 山口忍，他：乳幼児への読み聞かせを通じたコミュニケーションの現状。日本公衆衛生雑誌，52(8)：714. 2005
- 19) 平川知恵，他：親子の触れ合いを目指した絵本の読み聞かせ事業への取り組み。日本公衆衛生雑誌，52(8)：714. 2005
- 20) 佐藤憲子：父親の育児参加が母親の育児意識に及ぼす影響。日本公衆衛生雑誌，50(10)：636. 2005
- 21) 水谷麻里子，他：家族の育児参加に関する調査研究(第1報) 家族の育児参加と参加度の高い家族の特徴。日本公衆衛生雑誌，51(10)：573. 2004
- 22) 西出りつ子，他：家族の育児参加に関する

- 調査研究(第2報) 家族の育児参加に対する母の評価と育児不安. 日本公衆衛生雑誌, 51(10): 573. 2004
- 23) 平岩幹男: 健診で着目する疾患・発達課題の知識. 保健師ジャーナル, 60(5): 426-429. 2004
- 24) 鳥取県福祉保健部健康対策課: 鳥取県乳幼児健康診査マニュアル: 36. 2004
- 25) 松山由紀: 問診で「子どもの成長・発達」を確認する際のポイント. 保健師ジャーナル, 60(5): 430-433. 2004
- 26) 金子浩美, 他: 3才児をもつ母親の疲労と衝動的感情—夫の育児・家事行動との関連. 第52回日本小児保健学会講演集: 184-185. 2005
- 27) 南前恵子, 他: 乳幼児をもつ父親の育児・家事の実施状況. 第52回日本小児保健学会講演集: 194-195. 2005
- 28) 斉藤恵子: 父親の育児参加行動が母親の育児意識に及ぼす影響. 日本公衆衛生雑誌, 50(10): 636. 2003
- 29) 昇玉尚子, 他: 父親の育児協力と母親の満足感との関連 — 4ヶ月時健診の調査から その2—. 日本公衆衛生雑誌, 50(10): 637. 2003
- 30) 森田芳江, 他: 父親の育児・家事参加に関連する要因の検討. 日本公衆衛生雑誌, 51(10): 571. 2004
- 31) 中浦孝子, 他: 父親の親となってからの認識の変化に影響を与える要因. 日本公衆衛生雑誌, 51(10): 571. 2004
- 32) 和田佐和子, 他: 4ヶ月児健康診査時における授乳状況の実態(第2報)—母親の育児観への影響の分析—. 日本公衆衛生雑誌, 52(8): 655. 2005
- 33) 伊藤るみ, 他: 幼児の生活習慣と栄養・食品摂取の関連性について. 日本公衆衛生雑誌, 50(10): 611. 2003
- 34) 青百合恵, 他: 子どもの生活リズムと生活習慣に関する調査研究第1報 幼児の生活と保護者の養育行動. 日本公衆衛生雑誌, 52(8): 654. 2005
- 35) 大脇淳子: 幼児の就寝時刻を遅らせる要因—就寝前の過ごし方の実態から—. 日本公衆衛生雑誌, 51(10): 577. 2004
- 36) 伊藤るみ, 他: 幼児の生活習慣・朝食喫食習慣・食品摂取状況について. 日本公衆衛生雑誌, 51(10): 576. 2004
- 37) 中山美由紀, 他: 子どもの就寝及び起床時刻との発達との関連 第2報. 第52回日本小児保健学会講演集: 324-325. 2005
- 38) 境橋美津子, 他: 幼児の朝食と母親の意識の実態調査. 第52回日本小児保健学会講演集: 330-331. 2005
- 39) 佐々木昭彦: 歯科的異常の診かた. 小児科診療, 67(6): 988-993. 2004
- 40) 浅里仁, 他: おしゃぶりについての実態調査—第8報 生活習慣, 家庭環境との関連について—. 第52回日本小児保健学会講演集: 492-493. 2005
- 41) 鈴木ゆみ, 他: 乳幼児の誤飲防止プログラムに関する研究—「誤飲チェッカー」を用いた介入研究. 日本公衆衛生雑誌, 51(10): 621. 2004
- 42) 内山有子, 他: 母子保健事業で用いる事故防止マニュアルと指導教材の作成. 日本公衆衛生雑誌, 52(8): 664. 2005
- 43) 石井博子, 他: 子どもの事故防止の可能性. 日本公衆衛生雑誌, 52(8): 665. 2005
- 44) 山中龍宏: 健診と事故予防の指導. 小児科診療, 67(6): 994-998. 2004
- 45) 齊藤幸子, 他: 母子保健と保育所の連携に関するアンケート—第2報—保護者の意識調査(1) 対象別特徴の把握について. 第52回日本小児保健学会講演集: 474-475. 2005
- 46) 添い寝は危険? 赤ちゃんの窒息死リスクが40倍に——米研究. MedWave2003. 10. 8 <http://medwave.nikkeibp.co.jp/regist/>

- medi\_auth.jsp?id=0/tpic/270502
- 47) 睡眠時におしゃぶり使用でSIDSは90%以上防げるー米研究. MedWave2005. 12. 20  
[http://medwave.nikkeibp.co.jp/regist/medi\\_auth.jsp?id=0/mdps/418344](http://medwave.nikkeibp.co.jp/regist/medi_auth.jsp?id=0/mdps/418344)
- 48) 福岡市立こども病院編：乳幼児突然死症例・診断の手引き. 2001. 9. 25  
<http://www.fukuoka-child.jp/child030data/ikyoku/SIDS.html>
- 49) 嶋田耕吉, 他：育児負担感軽減のための支援方策に関する研究(V)-乳幼児との接触経験の有効性-. 日本公衆衛生雑誌, 50(10) : 647. 2003
- 50) 中村敬：地域における子育て支援～育児ストレスとその生成要因について～. 大正大学研究紀要92号 : 316-336. 2007
- 51) 前川喜平：おしゃぶりについての考え方. 小児保健研究, 64(2) : 345-346. 2005
- 52) 武見ゆかり, 他：小学生保護者の家族との共食頻度と食習慣との関連1報 食態度・食行動との関連. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集:312. 2006
- 53) 大久保公美, 他：小学生保護者の家族との共食頻度と食習慣との関連2報 食品群・栄養素摂取との関連. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集:312. 2006
- 54) 高増雅子, 他：小学生の家族との共食行動と食物選択力形成との関連ー食品購買行動を中心にー. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集:313. 2006
- 55) 針谷順子, 他：小学生の家族との共食行動と食物選択力形成との関連ー小学生と保護者のペアによる検討ー. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集:313. 2006
- 56) 村松幸, 他：今, 話題のサプリメントは体に良いのか～システマティック・レビューからの分析. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集:157. 2006
- 57) 竹中麻里, 他：栄養教育による食行動の変化と咀嚼能力. 第60回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集:157. 2006
- 58) 久野一恵: 幼児の健康と食生活に関するアンケート調査結果報告書. 東与賀町歯科・食生活改善計画「スマイルハッピープログラム」: 2006
- 59) 久野一恵, 他：佐賀市内私立幼稚園児の食生活調査. 永原学園・西九州大学・佐賀短期大学紀要第31号. 2001
- 60) 久野一恵, 他：食育の観点からみた生活習慣と親の知識・意識の関連. 日本公衆衛生雑誌, 53(10) (特別付録) : 700. 2006
- 61) 真名子香織, 他：幼児期における遊びを中心とした生活習慣の相互関連に関する研究. 日本公衆衛生雑誌, 53(10) (特別付録) : 661. 2006
- 62) 菅原ますみ, 他：NHK放送文化研究所ホームページ.  
[http://www.nhk.or.jp/bunken/new\\_03100101.html](http://www.nhk.or.jp/bunken/new_03100101.html)
- 63) 巽あさみ, 他：医学と生物学, 148(2) : 8-13. 2004
- 64) 加納重紀, 他：日本小児科学会雑誌, 108(11) : 1391-1397. 2004
- 65) 中山美由紀, 他：1歳6ヶ月児をもつ母親に対する父親の育児支援行動. 母性衛生, 44(4) : 512-520. 2003
- 66) 濱耕子, 他. 母親の子どもに対する事故防止意識と生後1歳6ヶ月までの事故発生への影響ー乳児期にチェックリストを配布した母親と未配布者における比較ー. 小児保健研究, 65(1) : 11-17. 2006
- 67) 「乳幼児死亡の防止に関する研究班」報告書. 1998
- 68) 自転車に同乗する幼児の事故実態等に関する調査報告書:(財)全日本交通安全協会. 2005
- 69) 国民生活基礎調査(健康票) SF36
- 70) 厚生労働省: 食を通じた子どもの健全育成のあり方(ーいわゆる「食育」の視点からー)に関する検討会報告書, 2004. 2

表1 親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診問診項目 \*新たに集積した事項 50)～

No	親子の社会的健康度の支援に資するカテゴリ-10	親子の社会的健康度を育むための支援に視する乳幼児健診問診項目46	学術的事項・エビデンスに関わる事項						健やか親子21指標
1	親の(地域)社会との関わり	地域の子育てサークル等に参加していますか	2)	3)	4)				
2	親の(地域)社会との関わり	地域のお祭りや行事に参加していますか	5)						
3	親の(地域)社会との関わり	公園などに子どもを連れて遊びに行くことがよくありますか	6)						
4	親の(地域)社会との関わり	子育てが楽しいと思える時がよくありますか	7)	8)	9)				
5	親の身体・精神的健康度	自分はこの子を、扱いにくい子だと感じていますか	10)	23)	50)				
6	親の身体・精神的健康度	自分は子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか	11)	50)	63)			4-4子どもを虐待していると思う親の割合	
7	親の身体・精神的健康度	子どもが泣きやまず、いらいらすることがよくありますか	12)	13)	26)	6)	50)		
8	親の身体・精神的健康度	あなたは現在、健康上の問題で子育てに何か影響はありますか	14)	6)	11)	69)			
9	親の身体・精神的健康度	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか	15)	16)				4-5ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	
10	親の身体・精神的健康度	自分ひとりで子育てしているという思いがありますか	50)						
11	遊び	よくテレビ・ビデオを見せていますか	17)	1)	61)	62)	64)		
12	遊び	絵本の読み聞かせをよくしていますか	18)	19)					
13	遊び	お子さんとよく遊んでいますか	6)						
14	遊び	お父さんはお子さんとよく遊んでいますか	20)	21)	22)	26)	65)	4-8子どもと一緒に遊ぶ父親の割合	
15	遊び	外遊びをよくしますか	6)	61)					
16	遊び	友だちとよく遊びますか	23)						
17	遊び	ごっこ遊びをしていますか	25)						
18	母乳・接触	お父さんはおむつを替えますか	26)	27)	28)	29)	30)	31)	65)
19	母乳・接触	添い寝をして寝ていますか	46)						
20	母乳・接触	生後1ヶ月のころ、母乳育児をしていましたか	32)					4-9出産後1ヶ月時の母乳育児の割合	
21	食	食事の時間はだいたい決まっていますか	33)	70)					
22	食	家族と一緒に食事をするのがよくありますか(1日最低1食ふたり以上で)	52)	53)	70)	58)	59)	60)	61)
23	食	おやつは時間をきめて与えていますか	33)						
24	食	よくかんで食べますか	58)	60)					
25	食	子どもの食事をつくるのは楽しいですか	38)	60)	58)				
26	食	おこさんは、一緒に食事づくりや後片付けをしていますか	36)	70)	58)	60)			
27	生活習慣	おむつはとれましたか							
28	生活習慣	子どもを連れて夜外出・外食などをすることがよくありますか							
29	生活習慣	子どもは早寝早起きをしていますか	35)	36)	37)	59)	58)	61)	60)
30	生活習慣	おしゃぶりを使っていますか	39)	40)	47)	51)			
31	生活習慣	歯磨きや手洗いをしていますか							
32	生活習慣	衣服の着脱をひとりですますか							
33	生活習慣	保護者が歯の仕上げみがきをしていますか	58)	60)					
34	地域・周囲からの関わり(親子へ)	日常の子育ての相談相手は誰ですか	45)	49)	50)			4-6育児について相談相手のいる母親の割合	
35	地域・周囲からの関わり(親子へ)	あなたの住んでいる地域では子どもに道で声をかけてくれる人がいますか							
36	地域・周囲からの関わり(親子へ)	他の子どもに道でよく声をかけますか							
37	喫煙	あなたは現在喫煙していますか	48)					3-7育児期間中の母親の自宅での喫煙率	
38	喫煙	あなた以外の家族に、現在、喫煙している人がいますか	48)					3-7育児期間中の母親の自宅での喫煙率	
39	医療	かかりつけの医師はいますか						3-9かかりつけ医の小児科医をもつ割合	
40	医療	休日夜間にお子さんが急病のとき、診察してもらえる医療機関を知っていますか						3-10休日・夜間の子小児救急医療機関を知っている割合	
41	医療	子どもを対象にした心肺蘇生法(心臓マッサージなどの救急措置)の講習を受けたことがありますか						3-13心臓蘇生法を知っている親の割合	
42	事故	車に乗るときはチャイルドシートを必ず着用していますか	41)	42)	43)	44)			
43	事故	あなたは、車に乗るときはシートベルトを必ず着用していますか	41)	42)	43)	44)			
44	事故	薬・タバコ・あめ・ピアス・硬貨などの小物は1メートル以上の高さのところに置いていますか	66)	44)					
45	事故	お風呂に残し湯をしていますか	67)	44)					
46	事故	自転車に乗せる時には、子どもにヘルメットを着用させていますか	68)	44)					

## 親子の社会的健康度を育むための支援に資する 乳幼児健診項目の開発に関する研究

甲斐 友佳	千葉県印西市中央保健センター
渡辺 多恵子	常総市保健推進課（旧石下町保健課）
佐藤 千織	千葉県柏健康福祉センター
鈴木 茜	千葉県印西市中央保健センター
田中 太一郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部地域国際看護学講座
山縣 然太朗	山梨大学大学院医学工学総合研究部

平成17年度に開発した親子関係性・環境・子育て支援のための健診項目「山縣班50」をさらに検証をすすめ、親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診項目を創出した。

本研究では、モデル構築をおこなっている新たな母子保健情報システムに取り入れるべき、乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診における健診項目を下記の5つのカテゴリーを創出し、それらのカテゴリー内に延べ51項目の収集すべき健康情報項目を設定した。

1. 基本項目（7項目）
2. 家族項目（10項目）
3. 健診結果（20項目）
4. 予防接種（6項目）
5. 妊娠出産（18項目）

これらを山縣班50（健診編）と名付けた。

### I. 研究の目的

平成17年度に開発した親子関係性・環境・子育て支援のための健診項目「山縣班50」をさらに検証をすすめ、親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診項目を創出した。

本研究班においてモデル構築をおこなっている新たな母子保健情報システムにおいて取り入れるべき乳幼児健診項目（乳児、1歳6か月、3歳児健診）の開発に取り組んだ。

基本属性・健診結果項目を延べ51項目開発したことについて報告する。

### II. 研究のプロセス

健やか親子21推進の視点を検討し、健診項目を設定した。

#### 1. カテゴリーの設定

2. 各市町村で用いられている現行の健診項目の把握（別稿）
3. 集積すべき健診項目の選択

### IV. 結果

#### 【健診項目・・・山縣班50（健診編）】

健診項目については、以下の5つのカテゴリーをもとに、合計51項目を設定した（表1）。

1. 基本項目
2. 家族項目
3. 健診結果
4. 予防接種
5. 妊娠出産

乳児、1歳6か月、3歳児の時点のどの時期にどの情報を収集すべきかについては、表4に

示している。また、妊娠出産は、母子健康手帳から把握できる項目のため母子健康手帳から、健診票に転記すればよく、乳児健診時に把握することとした。

これらの項目は連結可能匿名化された個人データとなり、市町村から県、県から国へ集積されて、集計された結果が国や県から市町村へと還元されることを目指していることを踏まえている。

以下、山縣班50（健診編）に設定された項目を解説していく。

### 1. 基本項目

個人特定可能情報として以下の7項目を設定した。

- ①市町村
- ②市町村内地区コード
- ③健診実施日
- ④生年月日
- ⑤性別
- ⑥出生順位
- ⑦記入者

### 2. 家族項目

個別データを活用するには、属性等のクロス集計等を行うことが必要となる。保健活動をするための根拠あるいは評価をすることができると考えている。以下の10項目を設定した。

- ①兄の兄弟の有無
- ②同居家族
- ③子どもを含めた同居家族の人数
- ④婚姻状況
- ⑤母の年齢
- ⑥父の年齢
- ⑦母親の職業の有無
- ⑧日中の保育者
- ⑨高層居住（7階以上）
- ⑩居住年数

### 3. 健診結果

当日の健診会場で観察した事実情報や面接

時からの聴取内容、健診結果から得られた今後の方針などを項目にあげている。以下の20項目を設定した。

- ①児の体重
- ②児の身長
- ③児の胸囲
- ④児の頭囲
- ⑤要治療の虫歯
- ⑥治療済の虫歯
- ⑦生歯
- ⑧不正咬合
- ⑨栄養・発育
- ⑩精神発達障害・機能障害
- ⑪神経・運動・機能障害
- ⑫皮膚疾患
- ⑬骨・関節疾患
- ⑭循環器疾患
- ⑮呼吸器疾患
- ⑯消化器疾患
- ⑰泌尿器・腎疾患
- ⑱眼科疾患
- ⑲耳鼻咽喉疾患
- ⑳その他

### 4. 予防接種

乳幼児健診3時点における予防接種の接種率をリアルタイムに把握するための項目を設定した。以下の6項目を設定した。

- ①BCGを受けましたか
- ②ポリオを受けましたか
- ③3種混合を受けましたか
- ④MRを受けましたか
- ⑤麻疹を受けましたか
- ⑥風疹を受けましたか

### 5. 妊娠出産

多くの項目が母子健康手帳に記載されるよう設けられているため、乳児健診時の母子健康手帳から転記することを踏まえている。

また、健やか親子21推進項目として、極低



出生体重児・低出生体重児の割合を減少傾向へとすることから、喫煙の状況を把握する項目を含んだ。妊娠期・出産児の状況をリアルタイムに把握する目的の18項目を設定した。

- ①妊娠期間
- ②出血量
- ③多胎の有無
- ④出生時体重
- ⑤出生時身長
- ⑥出生時頭囲
- ⑦出生時胸囲
- ⑧妊娠中の職業の有無
- ⑨妊娠中の歯科検診の有無
- ⑩母親・妊娠前の身長
- ⑪母親・妊娠前の体重
- ⑫妊娠期間の体重増加量
- ⑬結婚年齢
- ⑭妊娠前、タバコを吸っていましたか
- ⑮妊娠に気づいた時、タバコを吸っていましたか
- ⑯その後、妊娠中、タバコを吸い続けましたか
- ⑰妊娠中の喫煙（夫）
- ⑱妊娠中の飲酒

## VI. まとめ

本研究班において、モデル構築をおこなっている新たな母子保健情報システムに取り入れるべき乳幼児健診の項目を設定した。

乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診における健診項目を下記の5つのカテゴリーを創出し、それらのカテゴリー内に延べ51項目の収集すべき健康情報項目を設定した。

1. 基本項目（7項目）
2. 家族項目（10項目）
3. 健診結果（20項目）
4. 予防接種（6項目）
5. 妊娠出産（18項目）

今後は、検索を進める他、創出された問診項目を展開・実施して集積されたデータから

エビデンスを創出することが必要である。

## VII. 文献

- 1) 松浦賢長, 他: 親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児健診・問診項目の開発に関する研究, 厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業) 山縣班報告書, 2005年

## 親子の社会的健康度を育むための支援に視する乳幼児健診問診項目 ～事故予防項目20の開発～

鈴木 茜	千葉県印西市中央保健センター
渡辺多恵子	茨城県常総市保健推進課
佐藤 千織	千葉県柏健康福祉センター
甲斐 友佳	千葉県印西市中央保健センター
竜岡 久枝	滋賀医科大学大学院医学系研究科
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター
山中 龍宏	緑園こどもクリニック
山縣然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部

健やか親子21の推進のための母子保健情報の利活用にもつた集積する情報内容の検討を行い、乳幼児健診（乳児、1歳6ヶ月、3歳児の3時点）における項目を創出した後、事故予防に強化した追加問診項目（事故予防オプション項目）を開発した。追加項目は20項目である。

1. お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか
2. 体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか
3. 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか
4. 家に消火器や煙感知器を備えていますか
5. ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか
6. 3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることを知っていますか
7. たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床から1m以上の場所においていますか
8. 熱いお茶やコーヒー、カップラーメンなどをテーブルの端に置いていませんか
9. 炊飯器やポット、アイロン、加湿器などを床の上においていませんか
10. 階段には転落予防の柵をしていますか
11. 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか
12. お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか
13. 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか
14. 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき車のシートとの間は10cm以内ですか
15. ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか
16. 歯ブラシやフォーク、箸などを口にくわえたまま遊ばせていませんか
17. ドアのちょうつがいの部分に指が入らないようにしていますか
18. ピーナッツなどの乾いた豆類、こんにゃくゼリーなどを食べさせていませんか
19. 水遊びをするときはライフジャケットをつけるようにしていますか
20. 自転車に乗せるとき、三輪車遊びのとき、ヘルメットをつけていますか

## I. 研究の目的

健やか親子21の推進のための母子保健情報の利活用をめざし、集積する情報内容の検討を行った。本研究では、乳幼児健診（乳児、1歳6ヶ月、3歳児の3時点）における事故予防に関する問診項目（オプション項目）の構築をめざし検討したため、報告する。

## II. 研究の方法

3時点における乳幼児健診の関係性・環境・子育て支援のための問診項目（山縣班50）の検討を行い5つの事故予防項目を創出した後に（別稿）、さらに事故予防に重点をおいて問診項目量を活用する市区町村を想定し、事故予防に関する追加問診項目（事故予防オプション項目）について、エビデンス等の検討により創出した。

## III. 結果

事故予防オプション項目は、以下の20とした（表1）。

1. お子さんを自動車に乗せるときは、いつもチャイルドシートに座らせていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

6歳以下の子どもの事故死の中で第一位は交通事故死である。生後すぐから、必ずチャイルドシートを着用することは法律で義務づけられている。

2. 体重が10kgを超えるまでは、チャイルドシートは車の進行方向に対して後ろ向き、45度の角度で装着していますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

新生児&乳児よのチャイルドシートの装着方法の基本をマスターすること、また、車の種類にあったものを正しく装着することも重要である。

3. 自動車または家の中にお子さんをひとりにしないようにしていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

室内はもちろんだが、自動車の中に子どもを一人で残しておくことは熱中症にもつながり、命を落としかねないので大変危険である。

4. 家に消火器や煙感知器を備えていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

家事や地震などの災害用に、消火器や煙感知器を撃ちに備えておくと良い。また、震災時の持ち出し袋も用意しておくと良い。

5. ベッドやソファ、ベビーカーから転落することがあることを知っていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

大人がちょっと目を話した隙に赤ちゃんは転落する。ベッドには柵をし、ソファには寝かさない、ベビーカーに載せるときはベルトで固定する必要がある。

6. 3歳の子が思い切り口を大きく開けると、口径が39mmになることを知っていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 乳児

【目的・意義・概要】

直径39mmというのは意外と大きな穴である。どんなものが通るのか家の中にあるものをこのシートの穴に通して確認してみると良い。

7. たばこ、化粧品など赤ちゃんにとって危険なものを床かから1m以上の場所においでいますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

赤ちゃんが立ったときのことを考え、赤ちゃんが口に入れたり手にすると危険なものは常に1m以上の高さのあるところに置かなければならない。

8. 熱いお茶やコーヒー，カップラーメンなどをテーブルの端に置いていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

熱い物や鋭利なものがテーブルの端にあると、赤ちゃんがいたずらをしてやけどや怪我をする原因になる。また、テーブルクロスも使わないようにすることも大切である。

9. 炊飯器やポット，アイロン，加湿器などを床の上においていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

これらはすべて赤ちゃんのやけどの原因になる。手の届かない安全な場所においておく必要がある。

10. 階段には転落予防の柵をしていますか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

はいはいが始まると階段からの転落による事故が増える。階段に柵をつけるほか、玄関などの段差のある場所にも防止対策をとらなければならぬ。

11. 浴槽にお湯を残したままにしておく危険だと知っていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

赤ちゃんは水深10cm，つまり鼻と口を覆うだけの水があれば溺れる。風呂場には鍵をかけ入れないようにしておく必要がある。

12. お風呂の洗い場から浴槽のふちまでの高さは50cm以上ありますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

50cm以下だと転落する可能性がとても高くなる。いっしょに入浴中でも溺水事故は起きる。目を離さないようにする必要がある。

13. 歩行器や手押し車を使わないようにしていますか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

歩行器やつかまり立ちよちよち歩きでの手押し車は転落すると大きな事故やけがにつながるので使用を避けたほうが良い。

14. 固定された幼児用チャイルドシートの背もたれを前方に引っ張ったとき車のシートとの間は10cm以内ですか

【選択肢】 はい・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

チャイルドシートは正しく装着することが大切である。せっかくだけつけても緩んでいては意味がない。

15. ベランダや窓際に踏み台となるものを置いていませんか

【選択肢】 はい・ときどき・いいえ

【時点】 1歳6か月，3歳児

【目的・意義・概要】

台によじのぼり、ベランダや窓から転落する事故が起きている。命にかかわる事故である。洗濯機や冷暖房の室外も台になる。